

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社

代表取締役 井上明美

いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

厳しい寒さが続きますが、皆様ご壮健にてお過ごしのことと存じます。松飾もとれ、すっかり普通の生活に戻ってきましたね。

お正月といえば、箱根駅伝。皆様はご覧になりましたでしょうか？

青山学院大学の快進撃は見事でしたが、私は駒沢大

学の5区馬場選手の壮絶なゴールが忘れられません。ご覧になった皆様も、あのゴールには胸を打たれたのではないのでしょうか。

「仲間にタスキを渡す」という使命感には、見るたびに心が揺さぶられます。それと同時に、私たち介護職と利用者様との関係を、投影せずにはいられません。

その方らしい生活の継続を実現するためにつなぐ「タスキ」。専門職一人一人がそのタスキをつなげなければ、成り立ちません。

本年も質の高いサービスをお届けできますよう、弊社一丸となって邁進していく所存ですので、ご指導の程よろしくお願い致します。

サンライズの物語

「言霊（ことだま）」の力

～新人だったあの頃、

勇気と自信を与えてくれた言葉～

ある女性ご利用者様のお話です。

その方は、若い頃から障害者手帳の交付を受けられており、何度も入退院を繰り返されていた方でした。

ある日、私が臨時にその方のご自宅を訪問して、食事作りをしていた時のこと。

出来上がった料理を見て、「おいしそうにできているわね。愛情がこもっているわ。一目見ればすぐわかるのよ」とおっしゃってくれたのです。

その当時、私はなりたての新人ヘルパーで、右も左もわからず不安の毎日を過ごしていました。

「自分の援助は、果たして皆さんにご満足いただけているのか」と思うと、心配で不安でたまりませんでした。

あの時も、私が調理している姿が、自信なさげに見えたのでしょう。

だからこそ、その労いの言葉に、私は心が揺れ、思

わず涙がこぼれて止まりませんでした。

ご利用者様もさることながら、ご主人様も素晴らしい方で、病床に伏す自分の妻に対し「何も心配することはないよ」といつも勇気づけてくれたそうです。そんな温かい言葉をかけてもらうご利用者様が、こんなことをおっしゃっていました。

「主人の優しさに応えられない自分が悲しい。お金なんかいらないの！健康さえあればいいの！なのに、自分はこんな身体で・・・こんな自分なら死んだ方がまだけど、病気では死ねないのよ」と。

初めて会った新人の私に向かって、思いの丈をぶつけて下さったのです。

私は、この言葉に感銘を受けずにはいられませんでした。

人の心に響く言葉・・・

辛い闘病生活を送られた方だからこそ、伝えられるのだなと感じました。

「言霊」ともいいますが、私たちのような介護に従事する者にとって、人に伝える言葉の重みや大切さを知ることはとても重要です。ご利用者様お一人お一人に対してかけさせていただく言葉を、私たちは学ばなければならないと痛感しております。

誰にでもわかる

成年後見制度

[連載第四回]

「後見制度支援信託」 について

清澤司法書士事務所 代表司法書士
清澤 晃 先生



今回は少し専門的な話になってしまいますが、最近質問が多い制度についてご案内したいと思います。

「後見制度支援信託」とは、成年後見人または未成年後見人の財産のうち、日常的な支払いをするのに必要十分な金銭を預貯金等として後見人が管理し、通常使用しない金銭は信託銀行等に信託する仕組みのことであり、平成24年2月1日より導入された制度です。

この制度の趣旨は、被後見人の財産の一部を信託して、親族後見人の管理する財産範囲を少なくし、こ

れによって私的流用等の不正行為を防止しようというものです。

本人に多額の預貯金がある場合に、まず専門職後見人（司法書士等）が選任され、家庭裁判所から交付される指示書に基づき、後見制度支援信託を扱う信託銀行と信託契約を締結します。そして、その後専門職後見人が辞任して親族後見人に引き継ぎ、親族後見人は原則として手元の現預金と収入を管理することになります。

信託銀行に預けた金銭は、信託契約で定期交付金の設定を行うことにより、定期的に定められた金額が信託銀行から後見人が管理する預貯金口座へ入金されますし、施設入所のための入居一時金など、臨時にまとまった費用の支払いが生じた場合は、家庭裁判所の発行する指示書を添付すれば、信託銀行から払い戻しを受けることもできます。

平成25年度の統計では、信託された金銭の平均額は約3700万円で、利用された件数は533人となっています。

清澤司法書士事務所 公式HP <http://ak-houmu.com/>
ご質問、お問い合わせはお気軽に！

スタッフ紹介

居宅介護支援事業所
介護支援専門員

山畑 敏江 (やまはたとしえ)



平成25年6月入社 出身地:東京都 血液型:O型
資格:介護福祉士/認知症ケア専門士/介護支援専門員

<自己紹介> 私は認知症通所介護で介護職・生活相談員として、「ご利用者様の思いに寄り添う」ことをモットーに従事したあと、現在の職場で初めてケアマネとしてスタート致しました。

活気・パワーあふれる職場環境で、毎日充実した日々を過ごしております。

今後は、「ご本人を中心とした、ご家族様・医療職・介護職等の方々とのチーム連携」を目標に、その方の希望に沿った生活が送れるよう、日々精進してまいります。

(代表・井上より)

とてもおしとやかで、かわいらしいチャーミングな人です。優しい言葉遣いでご利用者様と真摯に向き合う姿には感心します。仕事ぶりも大変真面目で、とても頼もしい存在です。

NEWS 今月のニュース

インドネシア人介護福祉士がケアマネ試験合格 EPA来日者で全国初

徳島県吉野川市川島町川島の老人保健施設・健祥会ウエルで働くインドネシア人介護福祉士のアリフ・バスミンさん（29）が、難関の介護支援専門員（ケアマネジャー）試験に合格した。経済連携協定（EPA）に基づく来日者としては全国で初めて。人手不足が深刻化し、外国人に介護を託す状況が続く中、「後輩が後に続くように、先駆者として頑張りたい」と話している。



EPAの人材として国内で初めてケアマネジャーの試験に合格したアリフさん（右）

<徳島新聞 2014. 12. 22>

今月の名言

成功の反対は、「失敗」ではなく「やらないこと」だ

佐々木則夫(サッカーなでしこジャパン監督)



一度しかない人生、「やらずに悔やむ」より「やって悔め」ですね。今年サッカー女子ワールドカップの年。なでしこジャパンが連覇されることをお祈りします。

お読みいただきありがとうございました。